

群馬大学医学部附属病院の病院長候補者について

群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議細則第2条第1項第2号の規定に基づき、学長に推薦する病院長候補者を選考したので、群馬大学医学部附属病院長候補者選考実施内規第7条の規定に基づき、下記のとおり公表する。

記

1 病院長候補者氏名

(氏名)	(職名)
齋藤 繁	群馬大学学術研究院教授（大学院医学系研究科主担当） 群馬大学医学部附属病院副病院長
村上 正巳	群馬大学学術研究院教授（大学院医学系研究科主担当） 群馬大学医学部附属病院特命副病院長

2 選考した理由及び選考の過程

(選考した理由)

別紙1・2のとおり

(選考の過程)

- ① 令和2年12月1日（火）
第1回群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議を開催
 - ・群馬大学医学部附属病院長選考基準案の策定
(URL:<https://www.gunma-u.ac.jp/wp-content/uploads/2020/12/d92f57eafe2929a8c5988ef1a5aca762.pdf>)
 - ・群馬大学医学部附属病院長候補適任者推薦要項の策定
- ② 群馬大学医学部附属病院長候補適任者の推薦受付
 - ・公示日：令和2年12月2日（水）
 - ・推薦受付期間：令和2年12月21日（月）～25日（金）
 - ・推薦受付状況：締切日までに2名の推薦があった。
- ③ 令和3年1月15日（金）
第2回群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議を開催
 - ・群馬大学医学部附属病院長候補適任者資格等審査
 - ・群馬大学医学部附属病院長候補適任者の面談実施方法の決定
- ④ 令和3年1月28日（木）
第3回群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議を開催
 - ・群馬大学医学部附属病院長候補適任者2名に対する面談の実施
 - ・学長に推薦する群馬大学医学部附属病院長候補者の決定

令和3年2月10日

群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議

群馬大学医学部附属病院長候補者氏名 齋藤 繁

選考の理由

この候補者に係る推薦書等の書類は、群馬大学医学部附属病院長候補適任者推薦要項で規定する提出書類に照らして不備がないことを確認した。

群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議では、群馬大学医学部附属病院長候補者選考基準に基づいて、提出された推薦書等の書類及び面談により評価を行い、以下の理由により、群馬大学医学部附属病院長候補者として適任であると考え、第一の候補者として学長に推薦することとした。

- ①病院長補佐として、院内環境及び保険診療を担当してきた。
さらに、副病院長として4年間、医療安全を担当し、病院長の職務を補佐して病院改革活動に取り組んでいることが評価できる。
これまでの改善・改革を評価・効率化・改良等も加えながら継続していこうとする意欲がある。
- ②保険診療管理センター長、先端医療開発センターワーキンググループ長、病床配分見直しワーキンググループ長、医療安全担当副病院長、患者参加型医療推進委員会委員長、病院運営会議病院戦略作業部会長を歴任するなど、病院内の細部に渡る状況を把握しており、病院運営に取り組む具体性と熱意がある。
また、大学病院としての役割を果たすため、職員の意識の高揚に積極的に取り組む姿勢を明確にしている。
- ③病院運営のみならず、専門性の高い診療を実践するために、高度な技術と知識を有する専門医の育成など、現状の課題を把握したうえで、病院全体の中・長期的なビジョンを明確に持ち、それらに取り組む意欲がある。
- ④群馬県や群馬県医師会などの関係団体と積極的に連携し、県内医療機関も含めて病診連携や、医師の偏在解消に向けた取り組みにも意欲的であり、地域貢献への積極的な姿勢が見られる。

以上が推薦理由であるが、群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議としては、病院長候補者に対し、群馬大学医学部附属病院がこれまで実施してきた多くの改革・改善を今後とも評価・効率化・改良を加えながら、継続して実行すること、医学部との連携によるシームレスな医学教育の充実、臨床研修医を始めとした若手医師の獲得・育成、地域医療へのさらなる貢献などの課題にも意欲的・積極的に取り組み、群馬大学及び群馬大学医学部附属病院の発展のために尽くしていただくことを強く要望する。

群馬大学医学部附属病院長候補者氏名 村上 正巳

選考の理由

この候補者に係る推薦書等の書類は、群馬大学医学部附属病院長候補適任者推薦要項で規定する提出書類に照らして不備がないことを確認した。

群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議では、群馬大学医学部附属病院長候補者選考基準に基づいて、提出された推薦書等の書類及び面談により評価を行い、以下の理由により、群馬大学医学部附属病院長候補者として適任であると考え、第二の候補者として学長に推薦することとした。

- ①病院長補佐として、院内環境・労務及び地域連携を担当してきた。
さらに、特命副病院長として3年間、地域連携を担当し、病院長の職務を補佐するとともに医療安全に取り組んできたことが評価できる。
- ②患者支援センター長、感染制御部長、感染対策委員長、地域医療研究・教育センター長を歴任するなど、広く病院の管理運営に関わってきており、それらを活かした病院運営に取り組もうとする意欲がある。
- ③医学生卒前・卒後のシームレスな教育の充実を行い、群馬大学医学部附属病院及び群馬県の臨床研修医の増加・定着に向け、積極的に取り組む意欲がある。
- ④群馬県や群馬県医師会などの関係団体との連携実績を有し、県内医療機関も含めて病診連携や、医師の偏在解消に向けた取り組みにも意欲的であり、地域貢献に取り組む姿勢が見られる。

以上が推薦理由であるが、群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議としては、病院長候補者に対し、群馬大学医学部附属病院がこれまで実施してきた多くの改革・改善を今後とも評価・効率化・改良を加えながら、継続して実行すること、医学部との連携によるシームレスな医学教育の充実、臨床研修医を始めとした若手医師の獲得・育成、地域医療へのさらなる貢献などの課題にも意欲的・積極的に取り組み、群馬大学及び群馬大学医学部附属病院の発展のために尽くしていただくことを強く要望する